

ジェンダー平等 推進部門 便り

2022年12月23日発行

神戸大学 インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター ジェンダー平等推進部門 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 Tel: 078-803-5471 /5017

2022年度神戸大学ダイバーシティフォーラム 「ジェンダー・性・セクシュアリティが 尊重される社会をえがく—私たちの課題と展望—」 を開催しました

2022年11月15日、2022年度神戸大学ダイバーシティフォーラム「ジェンダー・性・セクシュアリティが尊重される社会をえがく—私たちの課題と展望—」をオンラインで開催しました。

本学では、今秋から本格的にSOGIESCの尊重をめざし、「神戸大学における多様な性・ジェンダーに関する基本方針とガイドライン」を策定し、大学として取組を開始するところでございます。このガイドラインの策定に伴い、ジェンダー・性・セクシュアリティに関する現状を認識するとともに、課題や今後の展望を描くための礎となることを目指して、このフォーラムを企画しました。

本フォーラムでは、まず、アレキサンダー ロニー名誉教授から、基調講演としてすべてのジェンダーが活躍できる社会に向けて、今、現時点で私たちはどのような地点にいるのか、どのような社会をめざしていくのかなどの学術的視点からの講演が行われました。

次に、株式会社JobRainbow 代表取締役 CEO・星 賢人様から、会社を設立された際の問題意識、背景、設立当初から現段階における社会の受け止め方の変化、また主として若者にとってどういった反応があり、利益を追求する企業が今現在どういう意識をもってこの取組に参加しているのかなどについてご講演いただき、引き続いて、藤澤 正人学長が、本フォーラムに対するメッセージを述べました。

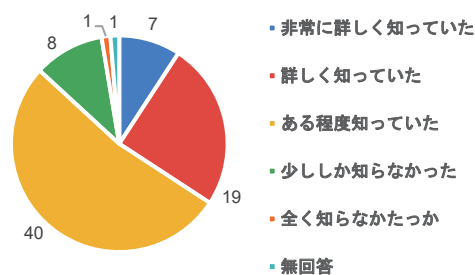
フォーラム後半では、学生の声として本学の久保 明日香さん(国際文化学研究科)、佐藤 ちひろさん(法学部)のお二人からそれぞれのお考えをご紹介いただきました。この後、参加者から講師への質疑応答、および講演者間の質疑応答が行われ、最後に、奥村 弘理事から閉会の挨拶があり、本フォーラムを終了しました。

当日は、パネラーを含めて96名の方にご視聴いただきました。ご参加いただいた皆様にお礼申し上げます。

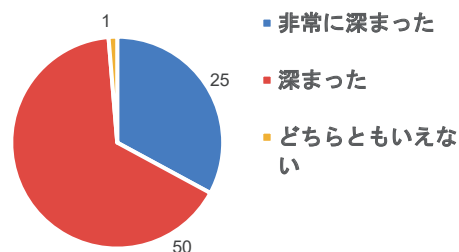
本フォーラム当日資料の掲載はございませんが、参加者の方からいただいたアンケートの結果をジェンダー平等推進部門ホームページに掲載しておりますのでご覧いただければ幸いです。

アンケート結果 (抜粋) (回答数 76)

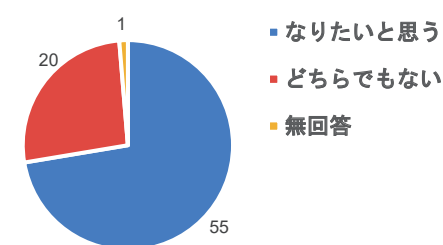
フォーラム前のLGBTQI+に関する知識



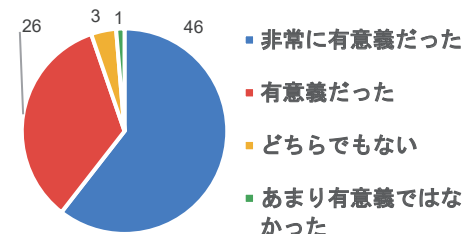
フォーラム後のLGBTQI+に関する理解度



「アライ」になりたいと思いますか？



本フォーラムの感想



ジェンダー平等推進部門協力教員のご紹介

※五十音順

秋田 直也 海事科学研究科 准教授

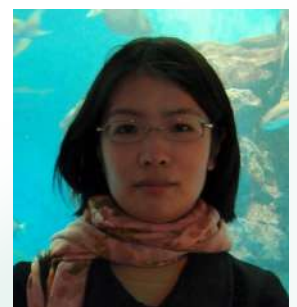
2021年度から協力教員をしています。当初は、ウェルビーイング、ジェンダー、ダイバーシティ、インクルージョン、アンコンシャスバイアス、SOGIESC、LGBTQIA+ など、これまであまり意識してこなかった言葉の連続に、とても戸惑っていました。ですが、これらの言葉の意味の深さを知るようになり、少しずつですが、自身の研究の中で意識するようになってきました。

私の専門である物流の分野では、近年、トラックドライバー不足の問題から、ドライバーの過酷な労働環境の改善が急務となっています。“モノ”は、“ヒト”と違い、自身では絶対に動きません。ですので、私たちの生活が便利になればなるほど、ドライバーの仕事は増えるので、何ら問題はないように思えます。ですが一方で、私たちの便利さを支える負荷が大きくなり過ぎて、ドライバーだけでは支えきれなくなっていることが、ドライバーが集まらない一因となっているのも事実です。こうした中で、ドライバーの労働環境を本当に改善するには、私たちが追求する便利さを見直すようなことを、皆で話し合っていくことが必要なように感じます。そのためには、例えば、ネットで買った商品を、その日のうちに自宅に届けてもらうといった便利さを消費者があきらめると、物流あるいは地球環境への負荷が、どの程度軽減されるのかといった皆で幸せになるという視点の研究が、今後、必要になってくるのかもしれない。

中村 絵理 経営学研究科 准教授

私がこころがけているワークライフバランス

裁量労働制のもとでは、ワークライフバランスを意識しなければ簡単に「ワーク」に傾いてしまうことを常々実感しています。日本人は特にこの傾向が強いように思います。私は2016～2018年の間、オーストリア・ウィーンに滞在しました。ウィーンの夏は過ごしやすく、夕方になると平日であってもカフェのテラス席で白ワインの炭酸割（ゲシュプリッツァー）を飲みながら友人とおしゃべりしている人を多く見かけます。休日にメールの返信があることはほとんどなく、返信がなかなか来なくても「相手はバケーションを取っているかもしれない」と思ってあまり気にしません。ウィーンでは、ハプスブルク帝国の時代から「心にも時間にも余裕を持つのが貴族の証」という価値観があり、相手や自分のために丁寧に時間を取ることが「豊かさ」と考えられているそうです。帰国後はまた日本の生活様式に戻ってしまいましたが、あまりにも「ワーク」に傾いているなと思った時は、ウィーン滞在時のことを思い出すようにしています。私の研究分野は「効率性」ですが、ある程度の余裕（組織スラック）が企業のパフォーマンスを上げることが明らかになっています。研究パフォーマンスにも、ウィーン流の「豊かさ」が良い影響を与えるのではないかと感じています。



開催報告

神戸大学ユネスコチェア教育プログラムを開催しました



12月3日～4日、神戸大学ユネスコチェア「ジェンダー、脆弱性、ウェルビーイングを中心に据えた減災対策」教育プログラムを実施しました。新型コロナウイルスの規制が続いている中、今年は3回目のオンライン国際会議となりました。

今年のテーマを「Living in a post-COVID world: the safe world we want to create」（コロナ後の世界に生きて～私たちが創造したい安全な世界～）と決定しました。メーファルアン大学（タイ）から14名、高雄科技大学（台湾）から6名、トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学（マレーシア）から5名、ガジャマダ大学（インドネシア）から2名、そして神戸大学から4名、計31名の学生と教員を含む約50名が参加しました。特筆すべきは、以前参加した学生（現在は院生）がファシリテーターとして参画したことです。インドネシア（1名）、台湾（2名）、日本（3名）の院生がグループに入り、短い時間により深い考察とより楽しい交流を促すことができました。ジェンダー、ウェルビーイングと災害に関心を持っている学生が少しずつ育ってきていることは主催者側としてとてもうれしいことです。

本会議は、チェアホルダーのアレキサンダー・ロニー氏の挨拶で始まりました。同氏は、「創造したい世界」を考えるためには、どこから来たのか、今はどこにいるのかを考える必要があると指摘した上で、ジェンダー、脆弱性、ウェルビーイングに関するグローバルな課題を提示しました。その後、各大学の学生が、それぞれの国の現状や課題について報告しました。テーマとして、教育（オンライン・ラーニング）が目立ちましたが、それぞれの国の状況が異なるということがよくわかりました。学生からは、「（一つ目は）日本の差別に対する意識や考え方が非常に低いレベルであることを痛感した。」（日本から参加した学生）や、「いろいろな国の人と知り合い、その国々の文化についての理解を深めることができるし、それぞれの国のジェンダー平等やコロナについての考えを学ぶことができた。」（台湾から参加した学生）との感想が寄せられました。

お・知・ら・せ

2022年度第1回 ロールモデル交流会 女性研究者と話そう～自然科学系編～ 一本音で語る研究者としてキャリアをつみあげていくにはを開催します

ICHセンタージェンダー平等推進部門では、女性のキャリアパスを切り口として、さまざまな立場の人が自分の経験を話し、またそれを受けとめる場を設けることで、研究者というキャリアパスを考える機会となることを目指して、ロールモデル交流会を企画しました。本交流会は、登壇者の講演だけでなく参加者との交流も含めたセミナーとして開催します。今回は、自然科学系の佐藤春実先生（人間発達環境学研究科）、松花沙織先生（理学研究科）に、キャリアに対する考え方、職場や家族、友人、研究仲間との関係の作り方やその変遷、子育てと研究の両立やこれからどういう研究者生活を送りたいか等をお話しいたします。ご参加いただく方の研究分野は問いません。男女を問わず、多くの方ご参加をお待ちしています。

参加申込 URL: <https://forms.gle/zMNDSWBDFbM3L79A> 申込締切: 1月5日

- ◆開催形式 対面 + オンライン（ZOOM）のハイブリッド形式（対面の定員20名）
- ◆開催場所 神戸大学 V.School 教室（神戸大学眺望館 1F）
- ◆開催日時 2023年1月18日（水）15:30～17:00
- ◆対象者 神戸大学 博士課程学生 研究員 若手教員
- ◆プログラム
 - ・開会挨拶
 - ・講演者 佐藤春実先生（人間発達環境学研究科）、松花沙織先生（理学研究科）
 - ・コメンテーター 大村直人理事
 - ・質疑応答／ディスカッション
- ◆共催 神戸大学キャリアセンター



ジェンダー平等推進部門にご意見・ご要望がありましたら、ホームページのお問い合わせからご意見箱を使ってお送りください。みなさまからのご意見・ご要望お待ちしております。